# 統合失調症と社会復帰

デイケアスタッフ
精神保健福祉士
岡　桃子

# もくじ

- 統合失調症とは
- 「社会復帰」とは
- 認知機能について
- 不安から抜け出すために
- 事例で見る社会復帰

# 統合失調症とは

- 約100人に1人が発症
- 15歳～35歳の間での発病が大多数
- 性別によるかかりやすさの違いはない
- 特徴的な症状

陽性症状：幻聴、妄想
陰性症状：感情表現が乏しくなる、意欲や気力の低下、
他者との関わりを避ける、など

- 原因については諸説あり…
- 「神経伝達物質」の伝達が過剰であったり低下したりすることが、さまざまな症状を引き起こすということが徐々に明らかになりつつある
- これらの機能を調整する作用をもつ「抗精神病薬」が治療の中心

# 「社会復帰」とは

# 社会復帰とは・・・

　病気や事故等によって社会活動を制限されてしまった人が、回復して再び社会で活動するようになること。

例えば…

- 自律・自立した生活をおくること
- 友人と会うなど、他者との繋がりを持つこと
- 地域の集まりなどに参加すること
- 就学、就労すること

※上記は、復帰の順番ではありません。

# 「自律（自己管理）」と「自立」

- 「自律」
  ＝自分の病気の理解や傾向などを把握し、ある程度コントロール（対処・調整）ができること、自己管理できること

- 「自立」
  ＝自分の力である程度の生活を営んでいくこと（身の回りのことを行う等）

⇒時には、家族と協力しながら行っていくこともあるでしょう。

# 他者との繋がりを持つこと
# 地域の集まりなどに参加すること

- 友人との外出や遊び

- 地域のサークル活動や習い事
  …フットサルチーム／草野球
  フィットネスクラブ
  市民講座への参加　etc…

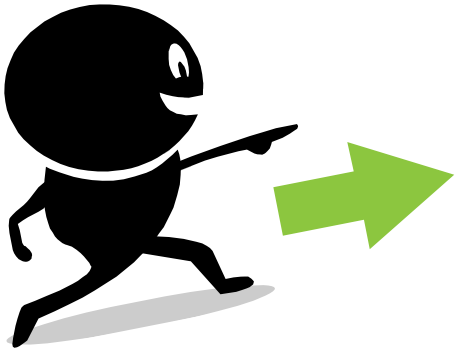
- 医療・福祉関係機関
  …デイケア／地域活動支援センター
  生活支援センター／自助グループ
  etc…

「就学」
「就労」
も含まれます

# 「社会復帰」といっても色々・・・

君は今、そして将来
どんな「社会復帰」を
望んでいるんだろう？

家族や医師と、そしてデイケアや
医療相談室などで一緒に
考えていきましょう。



「統合失調症の方の社会復帰」

その背景にあるものとは・・・

- たとえば・・・

新しいことが
覚えられない

同時に二つのことを
するのが苦手・・・

細かい部分に
気がつけない

# 「認知機能障害」

# 認知機能について

# 認知機能とは

記憶力／注意力／集中力
物事を計画する能力
問題を解決する能力
抽象的な概念を作り上げる能力

などを言います。

認知機能障害があると、
どうなるの？

- 注意力・記憶力

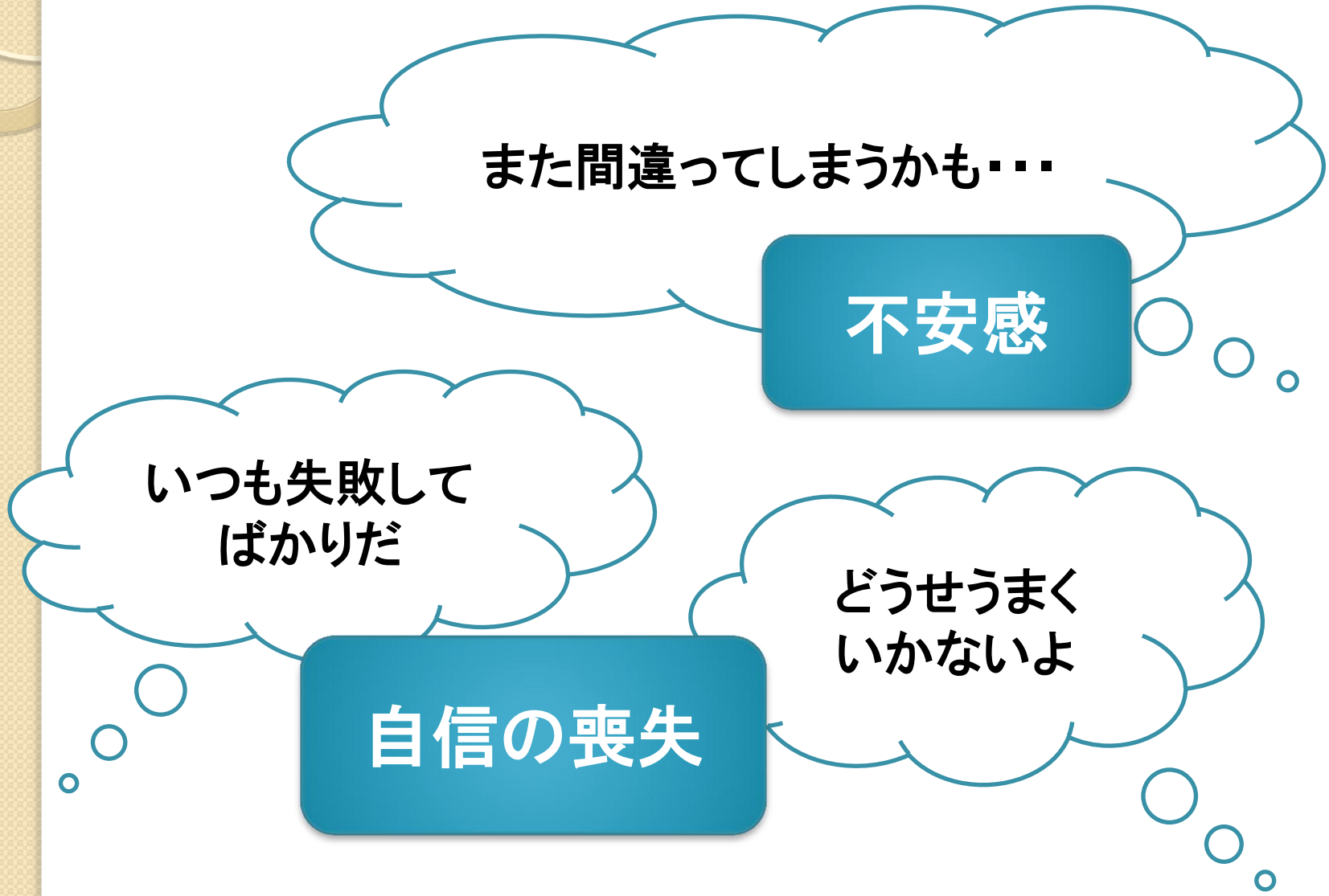
例）「貴重品の保管場所を忘れてしまった」
「人と会う約束を思い出せない」

- 問題解決能力

例）「お金のやりくりが難しい」
「部屋の整理が苦手」
「何から手をつけていくかなど、
重要度・優先順位の判断が苦手」

などなど・・・

# これらが続くと・・・



何から考えていいのか
も分からない

チャレンジするのも
怖いなぁ・・・

あんまり考えたく
ない・・・

何もしたく
ない・・・

行動できなくなる時もあります・・・

# 不安から抜け出すために

# ～「自己理解」は社会復帰への大切なポイント～

自分にはどんな側面が
あるんだろう・・・？

人柄

行動パターン

認知機能

感情の動き

自分の持つ「強み」「力」
にも注目してみましょう

# 時には工夫も必要

次はどうしたらうまくいくかな？
どんな強みを活かせるかな？

成功！

自信の回復

次のステップへの
モチベーション向上

# 周囲のサポートを使って考えていきましょう

# もうひとつ、大きな壁が・・・

目に見えない
周りから分かりにくい

# 周囲のサポートのポイント

- 認知機能部分も含めた理解と関わり
- 安心できる環境づくり
  （失敗しても受け入れてもらえる環境）
- 自分を認められるような、
  自信が持てるような関わり

# 事例で見る社会復帰

- Ａさん　30歳　男性
- デイケアメンバー

- 「ゆくゆくは働きたいので、就労に向けての勉強をするためにプログラムに参加したい」

→最初の頃は意欲的、積極的にプログラムに参加していた

- 人柄として・・・
  →がんばり屋という印象

- しかし、徐々にプログラムへの参加は減る・・・

様子を聞いてみると…

- Ａさん「プログラムに参加していても、人の話が聞けないんです」としきりに訴える

よくよく聞いていくと…

→話を聞こうとはしているが、
<u>頭に入らない</u>

- さらに聞いていくと…

- 今までにも、相手から説明されたことが理解できず、「自分にはできない」と思って始めたことをすぐに止める、ということが繰り返しあった様子

→話の中で、「何かを継続する、ということも苦手なんです…」とＡさん

- 「自分にはできない」「自分はだめだ」と思うことでの、悔しさ・悲しさ

その結果・・・

→次への一歩がなかなか踏み出せない時期も多かった

- 一緒に考えた結果・・・

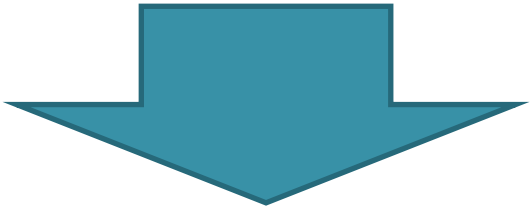
「人の話が聞けない」
「頭に入らない」

→「覚えられない」（記憶力）

どんなことから工夫できそうか…

☆まず、メモをとってみよう！

- メモを取るようになったことで…
  - ・学んだことを振り返られる
  - ・忘れても、見返して思い出せる



- 再び、プログラムに継続的に参加されるようになる

- プログラムに継続参加をしたことで…

「人の話が理解できなかったわけではない」
「続ける、ということができている」
「自分なりに頑張れている、という実感」

自信が持てた

自分を認める
ことが出来た

- 課題となった認知機能

→　記憶力

- 工夫した点

→　メモをとるようにした

- 活用したＡさんの「強み」

→　一生懸命で努力家、素直な人柄

- ご清聴ありがとうございました。

次回の家族教室は
９月２日（日）です。
※８月はお休みさせて頂きます。